大阪公立大学
Osaka Metropolitan University
学術情報リポジトリ

外国語教育における教師の役割について

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-06-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 車, 美愛 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24729/00005946

外国語教育における教師の役割について

車　美愛

2005年は、本学大阪府立大学史上に残る画期的な一年であった。公立大学法人大阪府立大学が発足し、それに伴い教育と研究全般を担当する機関、総合教育研究機構が作られた。総合教育研究機構は、第一、第二、第三の三部門（本学では教室と呼んでいる）で構成されている。その第二教室は、英語と初修外国語[1)]の教育と研究を担当する。初修外国語とは、文字どおり初めて修得する外国語のことである。修得とは、学問・技芸を身につけることと『日本語大辞典』にある。『広辞苑』には、（学問・技術・資格などを）習い覚えて身につけることとなっている。ここでは、英語と初修外国語を区別せず、広く外国語と呼ぶことにする。

外国語学習の目的

外国語学習の目的は、学習者それぞれの年齢や教育レベル、学習意欲、その時代の社会の要求、おかれた環境、興味、関心事によって異なる。学習者が挙げる代表的な目的の例としては次のようなものがある。

①詩、小説などの文学作品、芸術の鑑賞や研究のための道具として
②異文化の理解へ役立てたい
③国際的な舞台で活躍したい
④旅行や仕事で現地の人々とコミュニケーションをとりたい
⑤文字や言語を学ぶことに興味がある
⑥その国の優れた社会、科学、政治、経済などの学問分野について学ぶ道具として
⑦映画、音楽などを原語で楽しみたい
⑧将来の夢の実現のための準備の一段階
⑨尊敬する人物や憧れのスポーツ選手の国の言葉だから
⑩学校の科目・卒業単位の一つとして
⑪母国語を客観的に見つめなおし理解することに役立つ
⑫ラジオやテレビでよく耳にする隣国の言葉なので知りたい
⑬インターネットの気になるホームページを理解したい
⑭近所に外国人が増えてきたので、必要に迫られて

など広大な長期にわたる目的から、ごく身近な目的までさまざまな目的をあげている。
このような一生涯をかけての学習が必要な長期的目標であれ、一、二年で学習が終わる短期

的目的であれ学習目的の達成は容易なものではない。目的達成が難しければ難しいほど外国語の教育の重要性が増すのである。

外国語教育において重要な要素とはどのようなものだろうか。いろいろな要素が考えられるが、例えば、学習者（の学習目的）、教師、教育環境、教授法、教材、つまり、教科書や参考書、辞書、教育用機器など様々なものを挙げる事ができる。

本稿では、その中で最も重要な要素のひとつであると思われる教師について、先行研究と理想的な教師像についてのアンケートの分析結果を中心として外国語教師の役割について述べることにする。

外国語教育を担当する教師に求められるもの

教師が学習者の外国語教育で果たす役割が大きいことは誰も否定しないであろう。教師とうまくいかなくなってその語学の勉強をやめたという話をよく耳にするが、これは教師が外国語の学習に与える影響の大きさを裏づけてもいる。外国語教師に求められるものはどのようなものがあるのだろう。

千野（1986）は、次のように述べている。[2)]

> まず第一に、語学教師は自身、その語学がよくできなければならない。こう書くとあまりにも当然で何を今さらという気もするが、日本の現状では必ずしもこの条件が満たされているわけではない。その語学がよくできることの中には、まず発音のよさがあげられる。よい発音の先生についた学生が必ずよい発音をするわけではないにせよ、この両者の相関関係はとっても大きい。
> （中略）
> 優れた語学教師の第二の資格は、教え方が上手であるということである。その言語の大変な専門家であっても、必ずしもよい語学教師とはいえないのは自明の理である。溢れんばかりの知識があって、それをうかがうのは楽しみであっても、教え方が上手でない人がたくさんいる。逆に、それほど知識はなくとも、教え方が上手で評判のいい人もいる。限られた知識しかなくとも、それを整然と教えられる人のほうが大学者であっても教え方に方針と方法のない人より初歩の語学に関しては役に立つ。何より大切なのは、そのコースで何をどれだけ、どれくらいの期間で教えるか、はっきり理解しているかどうかである。
>
> 従って、語学を専攻している学生を集めてする大学での授業と、カルチャー・センターのような、素質や、その語学の学習の使える時間や、学習の目的や熱意にばらつきがあるコースでの授業では、いろいろな面で違っていなければならない。よい授業の目安は受講者の数が多く、出席がよく、学習者の数が減らないことである。

（中略）

そして最後に、語学教師にとって一番大切なものは、語学教育への熱意と学習者をひきつけずにはおかない魅力ある人間性である。これが欠けていては教壇に立つ資格がなく、これさえあれば時には語学力がいささか不足していようと、教え方にやや難があろうとカーバできる大切な資質である。

また、吉島茂・大橋理枝他訳・編（2004）『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』では、次のように教師の役割について述べられている。[3)]

教師の役割：教師は自分達の行動が自身の態度や能力の反映であり、また、言語を学習、習得する環境で非常に重要な部分を占めていることを自覚しなければならない。学生が将来その言語を使用する際や、学生が将来教師になったときの手本を見せているのである。次の事項の重要性を考える必要がある。

a) 教授技能
b) 教室運営技能
c) 実践研究（アクション・リサーチ）を行ない、経験を反省する能力
d) 教え方のスタイル
e) テスト・評価・総括評価の扱い方を理解し、実践する能力
f) 社会文化的背景に関する知識とその教授能力
g) 異文化に対する態度や適応技能
h) 学生の文学鑑賞を理解し、育成する能力
i) さまざまな性格や能力を持つ学習者からなるクラスの中で一人一人に対応する能力

崔吉時（1998）では、外国語教育の中の韓国語教師について、次のように述べている。[4)]しかし、韓国語に限ってではなく、ほかの外国語にも共通すると思われるので、ここに取り上げることにする。

教育活動を成功させるために教師はどのような役割をしなければならないのか。韓国語教育がいまだ分野別に専門化されていないけれども、韓国語教師は次のような全ての役割を専門家らしく緻密に誠実に遂行しなければならないのである。

・教育の企画者
・教育計画の実行者
・語学に関連した問題の解説者
・技能（聞く、話す）訓練の相手及び校正者

・教材編纂及び学習資料の製作者
・学習結果の評価及び能力評価者
・教育に関する現場研究者
・語学関連問題の相談者
・韓国文化への案内者

これらだけではなく、ときには意外にも韓国人の代表的な存在にならなければならないときもあるのである。

崔吉時（1998）は教師の資質として求められるものについて、また教師の指導能力についても詳しく述べている。[5)]

上にあるように、教師には、その外国語の専門的な知識は勿論、教授法、教材の作成者、教育の計画・企画者、教養ある人間として常識的に身につけておかなければならない文学、社会、歴史、文化分野などの知識、教育に対する誠意や熱意、人格的な面の形成まで要求されるのである。

アンケートの分析結果から見る理想の教師像

ここからは視点を変え、教師側からではなく外国語を学ぶ学習者側からみた外国語教師について考察してみよう。

2005年11月に実施したアンケート[6)]の分析結果に基づいて、学習者が想定する理想的外国語教師像、つまり、外国語教師に求められるイメージはどのようなものであるかを明らかにしてみよう。

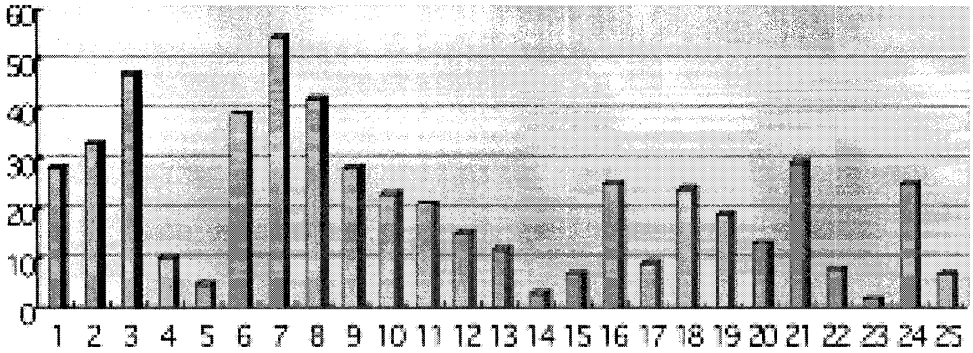
大阪府立大学において朝鮮語基礎[7)]の授業を受講している学生を対象にアンケートを実施し、62名からアンケートの回答があった。

次のページの表1は、アンケートの回答数をグラフに表したものである。

学習者のアンケート結果において多い回答数（複数回答可能）を得た項目順に並べてみると次のとおりである。

一番目：7番の説明が分かりやすく丁寧である　（回答数：54）
二番目：3番の声が大きくて聞き取りやすい　（回答数：47）
三番目：8番の授業の進め方が楽しくて面白い　（回答数：42）
四番目：6番の学び方、覚え方を教えてくれる　（回答数：39）
五番目：2番の教育について誠意と熱意を持っている　（回答数：33）
六番目：21番の発音がよいこと　（回答数：29）

表1.



（　縦軸：回答数　　横軸：アンケート項目番号　）

2005年11月実施

全体回答数：528回答

七番目：1番の学生の潜在能力とやる気を引きだしてくれる　（回答数：28）
　　9番の授業中、リラックスして参加できるように雰囲気を作ってくれる
九番目：16番のよくできたら褒めてくれる　（回答数：25）
　　24番の黒板の字が大きくて分かりやすい
十一番目：18番の担当外国語についての専門知識を持っている　（回答数：24）

教育に対する誠意や熱意を持つ教師が五番目に、また学生の潜在能力とやる気を引きだしてくれる教師が七番目である。教師側から評価されるこれらの要素以上に、説明が丁寧で分かりやすい教師のほうが学習者側から高く評価され、一番になっていることは、大変注目すべきである。学習者が自分の学習力に自信がなく、授業は先生から与えられるものであるという消極的で受身的な姿勢の学習態度を表していること、また学習者の全体的な学力低下も関係するように思われる結果が出ている。

二番目の声の大きさと聞き取りやすさは、外国語教師だけでなく教師全体にかかわる事柄であり、妥当な結果であると言えよう。

三番目、授業は必ずしも楽しくて面白いものだけではないが、教師は、関連性のある遊びを取り入れたり、教材を工夫するなど、学習者が自発的に参加できる授業を計画し、もっと楽しく面白く興味深いものにするように教材研究と教授法の工夫に務めるべきである。

四番目の、学び方、覚え方を教えることについてはかなりの言語専門知識や教育経験が必要とされる。学習者に対して認知科学の方法を生かした学び方や覚え方を伝え、役立ててもらうように平素からの研究が期待される。

教師の発音のよさが六番目にあがっているが、それは初学習者には特に重要な項目であり、学習者の後の発音のよさを決定する大事なポイントである。

九番目の、よくできたときや努力した際に褒めることは、学習者の学習意欲を高め、学習効率をあげることに効果がある。

大きくて丁寧な文字、綺麗な文字を板書することによって、学習者は黒板の文字を真似て、綺麗で丁寧な文字を書くようになる。綺麗な文字を書こうと努力することと学習効果の上昇には大きな相関関係がある。

教師が担当外国語の専門知識を持っている事についての評価が低いことは、アンケートを実施したクラスが基礎レベルのクラスであるので、その必要性を学習者は実感していないことを表している。

また、非常に興味深いことに、学習者の評価が低い教師の項目は、次のような順番になっている。

一番目：	23番の宿題や課題を沢山だしてくれる	(回答数：2)
二番目：	14番の厳しく言ってくれる	(回答数：3)
三番目：	5番の様々な教材と教育機器を用いる	(回答数：5)
四番目：	15番の出来が悪くてもあまり怒らない	(回答数：7)
	25番のいろんな相談にのってくれる	
六番目：	22番の授業の準備が徹底している	(回答数：8)
七番目：	17番の教育経験が豊かである	(回答数：9)
八番目：	4番のシラバスに沿ってやってくれる	(回答数：10)
九番目：	13番の学生を尊重してくれる	(回答数：12)
十番目：	20番の日本人の場合、バイリンガルである	(回答数：13)
十一番目：	12番の学生の名前を覚えている	(回答数：15)

最も評価の低い教師には23番の宿題や課題を沢山だしてくれる教師が、次に評価の低い教師は14番の厳しく言ってくれる教師になっている。宿題と課題は予習や復習になること、学習した部分を再認識し定着させること、学習者の自主的・自覚的な学習の組立てや学習能力の向上をもたらすことなどの効果がある。そのことを、学習者に強調する必要性がある。学習者の安易で受身的な学習態度を積極的に学習に取り組むように変えていくためには、さらなる教授法や教材の開発が求められよう。

二番目の、厳しく言ってくれる教師と四番目の出来が悪くてもあまり怒らない教師(15番)は、一見矛盾するように思われるが、厳しい教師、怒らない教師、どちらも学習者から支持されていない。あるときは厳しくあるときは優しく、その場の状況に合わせて対処する能力が必要とされるのである。

13番（九番目）と12番（十一番目）の結果では、学習者の人格や個性を尊重し、名前をはやく覚えることは、教師ならば、だれでも努力をする項目であるが、学習者には名前を覚えられ、授業中に指名されることや指摘されることを避けたいという消極的な気持ちが表れている。学習者の性格が消極的であるか積極的であるか、外向的か内向的かは学習にも影響を及ぼす。[8] このような性格的要因は学習効果と深い関係がある。学習者の性格や長所を生かしながら弱点を補填していく教育が理想である。

三番目に、学習者から評価されていないのは、5番の様々な教材と教育機器を用いる先生である。LL教室、視聴覚室、自習学習用コンピューター室、一般教室での使用等において、テキストと絶妙に合わせながら適切に利用することは、学習者の心に印象深く残り大きな教育効果をあげるが、学習者からの評価が低いことは意外である。平素からゲーム、コンピューター、TV 、ビデオ、DVD、CDなどの音に慣れているはずの学習者が、テープ、DVD、CDなどから流れる音声より、目の前の学習現場で繰り広げられている生の教師の声による直接のやりとりのような単純な授業のほうに反応し興味を示すことは非常に注目すべき点である。教育用のメディアは学習に大変役に立つが、学習効果をあげるための教育現場の状況とテキストとの相互性を考慮した望ましい用い方にはかなりの熟練の技能が必要とされる。4番（八番目）の、シラバスに沿ってやってくれることに、学習者は興味を示さない。このことは、学習者はシラバスの重要性を認識していないことを表している。シラバスには毎回の授業の教育計画や教育目標、参考資料、小テスト、宿題、教育評価の基準、オフィスアワー、など半年間の教育の大変重要な情報が満載しているので、その重要性をもっと周知させることが望まれる。[9]

22番の、授業の準備が徹底している教師と、17番の教育経験が豊かである教師についての評価が低いことは、学習者の認識不足に起因し、授業の準備の重要性や教育経験が豊かであることは、教育現場で何よりも大切にされている要素なので、改めて言う必要性はないと思われる。

十番目にあがっている、教師が日本人の場合の、バイリンガルである必要性についてであるが、予想外に評価が低い。最近外国人教師が増えてきていることや日本人教師においても留学や海外の学会へ出席するなど、外国語に堪能な教師が増えているなどの理由で、学習現場においてそれほど問題にならないようである。学習者は日本人教師と外国人教師が果たす役割は異なること、両方が学習に必要であることを十分認識している。両者の長所を生かした調和のとれた語学教授法の効果が大いに期待される。

教師の役割

ここまで、先行研究と実際の学習者のアンケート調査を通じて外国語教師に要求されるものとは何かについて考察してきた。このアンケートに関しては、朝鮮語を学習するクラスに限って実施したこと、また、回答者数が62名で、少なかったことなどを問題点としてあげ

ることができる。それゆえ、外国語教育全体に広げて解釈することに疑問がなかったわけではないが、分析結果を考察してみると外国語教育を成功させるための共通の要素がほとんど網羅されていた。

それでは、外国語学習を成功に導くために教師が果たさなければならない役割とは、どのようなものであるかについて、まとめてみよう。

外国語を学ぶ学習者の目的は、前にも述べたように様々である。

仕事で語学を生かしたい、旅行の際に使ってみたい、テレビや新聞を理解できるようになりたい、好きな歌手や俳優のホームページを読んでみたい、また国際人の教養として身につけたいなどの目的が多く見られる。

しかし、どのような動機や目的から外国語の学習を始めたにせよ、最終的な目標は、その外国語の高度な運用能力の実現である。つまり、流暢に話せるようになること、すなわち、自分の考えを相手にしっかり伝えられる能力の実現である。その外国語を使って、その国の文化や歴史についての知識を得ること。また、お互いの文化の違いや異なる歴史的な背景などを踏まえたうえで、その国の人々の尊厳と権利を尊重しながら、1対1の人間と人間の付き合いをしていくこと。立派な成熟した人間としての責任を果たすこと、つまり、一人の社会人として自立した国際人としての役割を果たし、世界のために貢献することである。
そのような学習者の学習目標へ確実に近付けるように、手伝うことこそが教師がしなければならない役目であろう。

外国語教育において最も重要な学習者と教師を取り巻く環境は、時代とともに急激に変化している。

学習者の全体的な学力の低下、学力の二極化、性格的な要因の多様化の時代に外国語教育を担当する教師の意識改革は重要である。教師の意識改革で最も大切なことは、外国語教育も社会の変化に応じて、時代の要請に応じて変化しなければならないということを認識することである。多様化する学習者に分かりやすい、受け入れやすい教育、学習効果を上げ、学習者の様々な要望に応えられるようにしなければならない。

教師の役割とは、教育現場の教室では、学習者が自主的・自発的な学習意欲を保ちながら、学習者自身の語学知識が最大限発揮できるように教師はリラックスした雰囲気を作り、学習者が積極的に授業に参加できるように監督と助言者の役割を演じ、教室運営をしなければならない。その上、適当な緊張感を保ちながらも楽しく、活気溢れる授業が行なわれるように務めなければならない。つまり、学習者から信頼されるエンタテナーとして教室における授業運営技能を身につけるべきである。

外国語教育の分野においても、教育用のメディアの多様化、新しい教授法の開発、教材の開発、学習者の自主学習の助けになるコンピュータープログラムの開発などが次々と行なわれている。これらをうまく教育現場に取り入れ、外国語教育を成功させるための新教材開発への努力と新教授法の研究に励まなければならない。

教育現場である教室の外では、各外国語教育学会や教育用のメディアの講習会などが活発に開催されている。つねにこのような機会に接することが必要とされる。そうすることで、急速な変化や改革でもたらされる教師側の自信の喪失や不安を防ぐことができる。新しい変化や改革による教師側の自信の喪失や不安を解消するために、対応策として学校側は、最新の教育用のメディアの講習会を開くこと、積極的に教育機器を導入すること、教材研究を財政的に補助することなどを保障し制度化することが急務である。今後、このようなことの改善が求められる。

最後に、アンケートの自由コメント[10)]の欄に、本学の経済学部のある学生が書いた理想の教師についてのコメントを載せておく。

> 理想の教師は、暴力を振るわず、学生の悪口を言わず、できの悪い人にでも愛情を持って接することが必要だと思います。楽しい授業をするためには、ちょっと授業から話をそらしたことを喋ってくれたら良いと思います。
> とにかく、優しさが重要だと思います。(易しさではなく)

注

1）本学の初修外国語にはドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、朝鮮語がある。

2）『外国語上達法』pp.108 − 122

3）pp157

4）『外国人のための韓国語教育の実際』pp.26

5）『外国人のための韓国語教育の実際』pp.28 - 29

教師の資質として以下のようなことが必要とされる。

① 教える内容と学習者の状況を正確に把握したうえで、教師としてどれが最善の方法であるかを判断し、様々なやり方の中から選択し実行に移す能力

② 教授・学習課程を把握し意識化する能力

③ 理論的知識と実践的知識の調和に基づいた判断力

④ 自分が行なっている教授活動を教育活動全体の流れの中で意味を付与し考える能力

⑤ 自分の知識と行動の状態を評価、反省し他人のアドバイスを積極的に受容する姿勢

⑥ 自ら常に研究し努力する姿勢

⑦ 学習者の立場を理解しようとする心構えと積極的に受容する姿勢

⑧ 発音が明瞭で声もよく、標準語や標準発音使用

⑨ 韓国語教育に使命感と誇りを持っている教育者的な精神

指導能力とは、(pp.29)

①状況と条件に適合している緻密な授業計画能力

②学習対象者に合う授業進行能力

③均衡がとれた活気溢れる興味のもてる授業技術

④効果的な資料の作成、活用

⑤流暢な外国語（学習者の母語）駆使能力

⑥学習者の問題点を見抜く豊富な経験

⑦信頼感を与える自信と積極的な態度

⑧巧みな臨機応変的な事態対処能力

⑨適切な評価方法の適用と公正で分かりやすい判定

などである。

6）資料１、参照。

7）大阪府立大学の朝鮮語の授業には、次のような科目がある。

・朝鮮語基礎Ⅰ・Ⅱ

・朝鮮語会話Ⅰ・Ⅱ

・朝鮮語表現・読解ＡⅠ・ＡⅡ

・朝鮮語表現・読解ＢⅠ・ＢⅡ

・朝鮮語Ⅲ

8）吉島茂・大橋理枝他訳・編（2004）『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』pp.113

学習者の性格的な要因、例えば：

・多弁／寡黙

・冒険的／臆病

・楽観的／悲観的

・内向的／外向的

・行動先行型／日和見型

・内罰的／外罰的／免罰的性格（罪悪意識）

・不安や羞恥心の有／無

・頑迷／柔軟

・開放的／閉鎖的

・のびのびした／自己抑制的

・知性

・几帳面／軽率

・記憶力

・勤勉／怠惰

・野心的／野心のなさ
・自意識の有／無
・自分自身に対する信頼の有／無
・自分自身に対する自信の有／無
・自尊心の有／無

態度や性格的要因は、言語使用者／学習者のコミュニケーション行動における役割だけでなく、学習力にも影響を与える。

9）資料2を参照。平成18年度のシラバスを載せてある。

10）理想の教師についての自由コメント

・学生の視点に立った授業をすることが大切であると思います。
・授業が丁寧で分かりやすいのは大切ですが、眠くならないようにテンポよく進めることが必要だと思います。
・尊敬される人間的魅力
・学生の言語に対する興味を引き出してくれるような授業をしてくれること。
・適切な量の宿題と課題をだしてくれる
・ネイティヴスピーカーの場合、自分の国について日本人の教師ではできない話をしてくれるなど特色を持っていた方がいい。
・成績のつけ方がクリアであること：きちんと頑張って努力した人が報われるような、試験の仕方や成績のつけ方をすること。きちんと授業の準備をしてくること。
テキストを進めていくだけなら別に授業じゃなくても学生が個人でできるので、授業でなければ得られない情報などを学生に提供すること。（そうでないと学生は授業に出席することにあまり意義を見出せなくなる。）
・授業のスピードを学生の様子を見ながらはかってほしい
・学生も勉強する努力をすべきだと思うが、教師も覚えやすいように授業を進めてくれたら、嬉しいです。たまに、面白くてためになるようなゲームとか、映像とか曲をかけたりしたら、言語学習においては印象に残るのでためになるかもしれないと思います。
・留学の情報を教えてくれる。授業中たくさんその国の言葉を喋ってくれる。
何曜日の何時からその国の面白いドラマや歌があるよと教えてもらったら嬉しいです。
・興味を持てるような楽しい授業であればよいと思う。
・学生の習熟度を把握しながら授業を進めること。
・その国の文化なども教えてくれたらいいと思います。
・日本が好きであること
・日常的な場面のやり取りを実際に学生にやらせてみたり、参加できる授業内容をやってくれる。声をだすとたどたどしくても楽しいです。
・教科書の内容だけを進めていくだけでなく、興味を持てるような話、教材などをとり

いれてくれる。
・成績に悪い、できない学生だからといって、扱いを悪くしたりしないこと。
・担当外国語の国の文化いついての知識。
・やる気のない人には厳しく
・アンケートにある項目の半分でも満たされていれば十分だと思う。
・教師の発音が、そのままネイティヴの発音だと信じ込んでしまうので、発音は大事だと思う
・一番大事なことはやる気を出してくれる授業をしてくれることです。しかし、これは日本の数学や国語の授業についての言えることであって、外国語教育に限って言うなら、説明するときや宿題を出すときはできるだけ日本語で言ってくれないと僕たちにはなかなか伝わりにくいと思います。
・授業でのオン・オフをしっかりつける。
・教師に必要なことは、分かりやすく分かるまで説明して頂き、学生を平等に扱って頂くことです。
・テスト範囲をきっちり言ってくれること
・繰り返し学ぶこと。授業が苦痛でないと思える授業であることが必要だと思います。
・日本の文化や考え方についても知識がある。二つの国の文化について相互理解がある。
・ネイティヴスピーカーの場合、日本語で話しできないと困る。
担当外国語の国の流行やら現在の状況に詳しいこと。
・授業の中に映画や音楽、ドラマなどの一場面などを取り入れる。
・テストの結果が芳しくない学生への特別授業や提出物を出して、点をつけたしてくれる
・少し遊びを取り入れた教育方法をする
・要領よく適当な量を１回の授業でやってくれること
・授業のはじめに面白い話などをして、生徒がリラックスした気分で授業を聞けるようにできたら最高です。
・その国の若者の文化について教えてくれる
・普段から小テストなどをして、生徒の理解の程度を確かめること。

参考文献

『日本語大辞典』梅棹忠夫他監修、講談社、1995、第2版

『広辞苑　第5版』新村出編、岩波書店、1999

阿部謹也編（1992）『私の外国語修得法』悠思社

飯田秀敏（2002）「韓国語教育の明日のために」『2002年第39回在日本韓国人教育者研究大会報告書』在日本韓国人教育者研究協会 pp.26 - 41

奥田祥子編（1998）『ボーダーレス時代の外国語教育』未来社

カトー・ロンブ（1982）『わたしの外国語学習法』創樹社、第2刷

神谷善弘（2001）「外国語の授業において学生の意欲を高める方法についての一考察」『大阪学院大学外国語論集』第43号 pp. 1 - 12

クレイク・ショードロン（2002）田中春美、吉岡薫共訳『第2言語クラスルーム研究』リーベル出版、

佐伯智義（1992）『科学的な外国語学習法』講談社

白井恭弘（2004）『外国語学習に成功する人、しない人』岩波書店

新名美次（1995）『ちょっとした外国語の覚え方』講談社

関口一郎（2000）『「学ぶ」から「使う」外国語へ』集英社

千野栄一（1986）『外国語上達法』岩波書店

辻谷真一郎（2002）『学校英語よ、さようなら』文芸社

唐須教光（2002）『なぜ子どもに英語なのか』日本放送出版協会

長谷川恵洋（1997）『英会話と英語教育』晃洋書房

吉島茂・大橋理枝他訳・編（2004）『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』朝日出版社

崔吉時（1998）『외국인을 위한 한국어 교육의 실제』태학사（『外国人のための韓国語教育の実際』太學社）

財団法人国際文化フォーラム（2005）『日本の学校における韓国朝鮮語教育――大学等と高等学校の現状と課題』財団法人国際文化フォーラム

資料１：

Q 外国語教育の理想の教師に求められるものはどのようなことだと思われますか？
（複数回答可能）：該当する番号にマルをつけてください。

1．学生の潜在能力とやる気を引きだしてくれる
2．教育について誠意と熱意を持っている
3．声が大きくて聞き取りやすい
4．シラバスに沿ってやってくれる
5．様々な教材と教育機器を用いる
6．学び方、覚え方を教えてくれる
7．説明が分かりやすく丁寧である
8．授業の進め方が楽しくて面白い
9．授業中、リラックスして参加できるように雰囲気を作ってくれる
10. 質問しやすい
11. 体験談などの雑談を話してくれる
12. 学生の名前を覚えている
13. 学生を尊重してくれる
14. 厳しく言ってくれる
15. 出来が悪くてもあまり怒らない
16. よくできたら褒めてくれる
17. 教育経験が豊かである
18. 担当外国語についての専門知識をもっている
19. ネイティヴスピーカーである
20. 日本人の場合、バイリンガルである
21. 発音がよいこと
22. 授業の準備が徹底している
23. 宿題や課題を沢山だしてくれる
24. 黒版の字が大きくて分かりやすい
25. いろんな相談に乗ってくれる
26. 自由コメント：その他のどのようなことが必要だと思われますか？（いろいろ詳しく書いてくださるようお願いします。）

資料２：

平成18年度前期《 朝鮮語基礎Ⅰ 》シラバス

担当者：車　　美愛　　研　　究　　室：A15－＊＊＊号室
（チャー　ミエ）　　オフィスアワー：月曜日　16：10　～　17：40
メール：＊＊＊

授業目標：韓国語の文字に慣れて、正確に読み書きできるようになること。
簡単な文章が書けるように語彙を増やすこと。
簡単な日常会話や文法の勉強などを目標にします。

授業予定表：

	教　科　書	授業のキーワード、学習内容	小テスト	宿題、その他
2006年 4月 10日 1回目	授業概要説明 教科書 10、11ページ	韓国語の歴史 文字の構成 韓国語の基本母音、子音 簡単な挨拶（1）		10、11 ページの 基本母音と 子音を書く
4月 17日	教科書 12～14ページ	基本母音、子音の復習 基本的な文字と発音、 パッチム簡単な挨拶（2）	母音子音字母 の聞き取り、 書き取り	ハングル 一覧表を 書いてくる
4月 24日	教科書 15～17ページ	パッチム、複合母音、濃音 簡単な挨拶（3）	ページ13，14 の単語テスト	
5月 1日	第1課 19ページから	簡単な挨拶 自己紹介に関する表現 日本語のハングル表記	17ページの 挨拶、資料3の 第1課の1	10人の日本人 名前をハング ル表記する
5月 8日	第1課	国籍の言い方 これ、それ、あれ、何、助詞「は」	資料3 第2課の1	27～31の 練習問題
5月 15日	第2課 33ページから	誰、この人、その人、あの人 指定詞、相手の名前を尋 ねる時に使う表現（1）	資料3 第2課の 1、2	
5月 22日	第2課	相手の名前を尋ねる時に使う 敬語表現（2）	第2課の 1、2、3	35～39の 練習問題
5月 29日	第2課 第3課	存在詞（ある・いる、 ない・いない） 助詞「が」、「に」、「も」	資料3の 第3課の1	中間試験 予備日

6月 5日	中間試験予定日	範囲：最初から習ったところ （第1、2、3課）まで		中間試験予定日
6月 12日	第3課 45ページから	場所を尋ねるときの表現 「どこ」	第3課の 1、2	47～51の練習問題
6月 19日	第3課	場所を表す表現：位置名詞 前・後・横・上・下・中	第3課の 1，2，3	53～57の練習問題
6月 26日	第4課 59ページから	日常生活・習慣に関する表現 動詞の丁寧な表現	資料3の 第4課の1	
7月 3日	第4課	場所の助詞「で」 動詞の否定文	第4課の 1、2	62～68の練習問題
7月 10日	第4，5課 75ページから	量の多少を表す表現 頻度を表す表現	第4課の 1、2、3	期末試験予備日
7月 24日	期末試験予定日	範囲：中間試験後から習ったところまで	第3，4，5課	

＊上記の授業の予定は多少の変更があり得ます。

＊教科書：『よくわかる韓国語』入佐信宏・文賢珠著、白帝社。

＊参考図書：『朝鮮語を学ぼう』菅野裕臣著、三修社。

＊辞書：『朝鮮語辞典』共同編纂、韓国金星出版社・小学館。

注意事項：毎回出席すること（遅刻・欠席は一切しないこと）

無断で2回以上欠席した者は、期末試験の受験を認めません。

成績評価：小テスト・宿題（１０％）、中間試験（４０％）、期末試験（５０％）

資料３：小テスト用　単語リスト

1課	안녕하세요、저는、입니다/ 입니까、씨、아니오 회사원、주부、교사、공무원、교수、일본사람、학생 중국사람、한국사람、영국사람、미국사람
2課－1	이、그、저、이것、그것、저것、무엇、한국어、과자 한강、인삼차、후지산、휴대폰,핸드폰、노트북、김치 시계、영어
2課－2	가방、볼펜、연필、안경、우산、수건、손수건、지우개 필통、지갑、샤프、모자、자、수첩、제、책、것、누구
2課－3	아버지、친구、차、어머니、선배、후배、남자、언니 선생님、할아버지、할머니、우리、남동생、여동생、이름 어떻게、연세대학교、되십니까、여자、분
3課－1	집、에、컴퓨터、있습니다、없습니다、온돌、역 피아노、학교、방、우체국、침대、텔레비전、도
3課－2	형・오빠、누나・언니、할아버지、할머니、남동생 여동생、부산、도쿄、오사카、식당、저기、서울、어디
3課－3	백화점、앞에、약국、은행、사전、의자、화장실 계단、열쇠、책상、뒤에、옆에、차
4課－1	오늘、오후、하다、숙제、가다、보다、을,를 만나다 사다、마시다、자다、먹다、읽다、살다、토요일 야구장、술、을,를、내일、영화、시내
4課－2	보통、저녁에、운동、음악、듣다、공부、주말、식사 수업、에서、옷、도서관、공원、요리、하지 않습니다
4課－3	담배、피우다、조금、많이、밥、야채、고기、목욕탕 자주、거의、전혀、가끔、술집
5課－1	동대문시장、싸다、비싸다、예쁘다、나쁘다、청소 빵、아주、따뜻하다、시원하다、좋다、덥다、춥다 맛있다、재미있다
5課－2	날씨、많다、어떻습니까、조금、교토、어렵다、크다 쉽다、가게、재미없다、저녁、와,과、가족、아침 점심、혼자、여행、외식、이야기

The Role of the Teachers in the Instruction of a Foreign Language

Miae Cha

This paper considers what is necessary for teaching a foreign language on the basis of the questionnaire carried out in Osaka Prefecture University in November in 2005.

As a frame of reference the currently published papers concerning this theme are analyzed.

In this paper I observed that the role of the teachers is to become good advisers so that the students can participate in the classes actively. In order to attain this, the teachers should acquire the technique of carrying out the classroom activities smoothly.

Also they should recognize the following points: the present lowered levels of the students, the dichotomy of their learning abilities and the diversity of the students' characters. At the same time, they should study the new methods of instruction and materials for study, for example, the media for education, new theories of instruction, computer programs which help the learners study by themselves, among others.